

第2節 省エネ・リサイクルの推進

木質バイオマス普及促進事業

平成 17～19 年度

間伐材等を利活用する木質バイオマス(※)は、その原料となる樹木が成長する過程においてCO₂を吸収することから、地球温暖化を防ぐための良質なエネルギーであると同時に、森林や木材が豊富な道内においては、輸送エネルギーの少ない地産地消型エネルギーに位置付けられています。

その中でも、間伐材や端材などをおが粉にし、小粒状に固めた「木質ペレット」を燃料とする「ペレットストーブ」は、木質バイオマスを利活用する環境に優しいストーブとして注目されていたことから、ペレットストーブの普及促進を図るため、以下の事業を展開しました。

※ 木質バイオマス

バイオマスとは、再生可能な動物や植物などの生物由来の有機性資源であり、その中で木材からなるバイオマスを「木質バイオマス」と呼ぶ。木質バイオマスには、主に、樹木の伐採や造材の時に発生する枝、葉などの林地残材、製材工場などから発生する樹皮やのご屑などのほか、住宅の解体材や街路樹の剪定枝などの種類がある。

* 新エネルギー講演会

北海道経済産業局、財団法人新エネルギー財団(現:一般財団法人新エネルギー財団)との共催により、淑徳大学教授・北野大氏を講師に迎え、「マー兄ちゃんのやさしい新エネルギー講座」を、平成 17 年 12 月 21 日に開催し、今後、活用が期待できる新エネルギー「太陽光、風力、バイオマス」や「省エネ」についての講演を行いました。また、講演会に併せ、木質バイオマスを燃料とするペレットストーブの燃焼展示も行いました。



淑徳大学教授・北野氏の講演

* 環境にやさしい森林エネルギーシンポジウム

森林エネルギーをテーマに、2部構成によるシンポジウムを平成 18 年 3 月 2 日に開催しました。第 1 部では、「木材を使うこと、海外の事例から」をテーマに、北海道大学大学院農学研究科助教授・柿澤宏昭氏による基調講演が行われ、海外の木材活用実例などが紹介されました。

第 2 部のパネルディスカッションでは、木質バイオマスの中で、とりわけペレットストーブの将来性などについて、意見が交わされました。

また、会場内外において、木質バイオマスのパネル展示やペレットストーブの燃焼展示も行いました。



パネルディスカッション「地域での木質エネルギーの利用を進めるために」

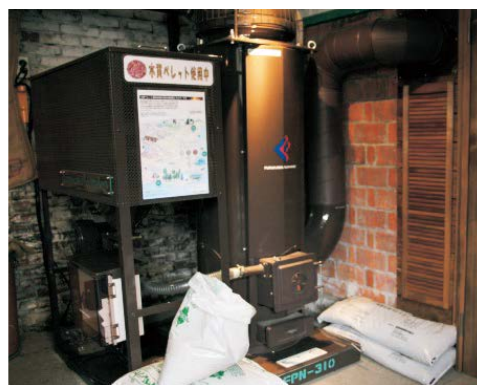
* 地球に優しい森林エネルギーセミナー

平成19年3月29日に、NPO法人北海道新エネルギー普及促進協会理事長であり、道内において木質バイオマス利活用普及の第一人者である大友詔雄氏を講師に招き、講演会を開催しました。木質バイオマスに関心を示す企業関係者などを対象に、最新の実証試験結果を紹介しながら、木質バイオマスの将来展望などについて講演しました。

* ペレットストーブモニター制度

一般家庭や商業施設などへのペレットストーブ導入を促進するため、平成18年度に「西区ペレットストーブモニター制度」を創設し、ペレットストーブの購入本体価格の半額(上限額5万円)を助成しました。本助成制度を利用し、平成18年度には5件、平成19年度には6件の一般家庭や店舗が、ペレットストーブを導入しました。

モニター第1号・Cafe-lunch 斉藤ファーム



新エネルギー教室

平成16～17年度

新エネルギー(※)の重要性と必要性を理解し、省エネルギーの推進による環境に配慮した生活の実現を目指し、北海道経済産業局及び財団法人新エネルギー財団(現:一般財団法人新エネルギー財団)との共催により、「新エネルギー教室」を計4回開催し、区内4校の小学生683人が参加しました。

この教室では、子どもが新エネルギーの実用性を体験しながら理解できるよう、ビデオ上映やクイズなどを交えた解説や、太陽電池を使ったソーラーカー模型を製作する工作教室が行われ、新エネルギーの実用性を肌で感じながら、楽しく学習しました。

※ 新エネルギー

石炭・石油などの化石燃料や核エネルギーに対する、新しいエネルギー源の総称。太陽光発電、風力発電などの自然エネルギーや、バイオマス(動物・植物などの生物由来のエネルギー)などがある。



クイズを交えながら新エネルギーを学習



ソーラーカーの製作



廃食油の独自回収

平成20年度～

廃食油(使用済みの天ぷら油)は、バイオディーゼルの燃料(BDF)へのリサイクルが可能なおから、消防署やスーパーマーケットなど、札幌市が設置する既存の回収拠点に加え、西区では、平成20年11月から、町内会や小学校PTAなどでの回収を開始しました。現在では、区内17団体が30カ所の拠点(巻末資料40ページ参照)において、廃食油を回収しています。

廃食油のリサイクルを行うことで、ごみ減量につながることはもちろん、BDFにリサイクルされることにより、CO₂削減による地球温暖化や大気汚染の防止にも役立っています。



小学校に設置された回収ボックス

* 廃食油回収・リサイクルの見える化



区内における廃食油のリサイクル活動の普及を目指し、廃食油のリサイクル過程を解説するパネルを平成22年度に作成しました。パネルの作成にあたっては、エコライフ・リサイクル部会の委員らが、BDFの製造施設において、BDFの精製過程を見学したほか、BDFが使用されているごみ収集車両への給油の様子やBDFの燃料タンクを見学するため、西清掃事務所を訪問しました。

このパネルでは、回収された廃食油のBDF精製過程や、その利用方法について、わかりやすく掲載し、区内の公共施設やイベント会場で、パネルの展示を行うことで、「廃食油回収・リサイクルの見える化」を進めています。

リサイクル過程を解説するパネル



BDF製造施設の見学



ごみ収集車両へのBDFの給油

ごみダイエット 裏ワザ・裏側バスツアー

平成21年度

平成21年7月からの家庭ごみ有料化開始に合わせ、平成21年6月24日に、ごみを減量する「裏ワザ」について学ぶごみ処理施設見学ツアーを実施しました。このツアーには70人を超える区民が参加し、以下の施設を見学しました。

◆ リサイクルプラザ発寒工房(西区発寒15条14丁目)

「変身！生まれ変わる家具」

一般家庭から出された大型ごみの家具や自転車などが修理され、リユース品として販売されるまでの様子を見学。



自転車の修理



家具の修理の見学

◆ 発寒清掃工場(西区発寒15条14丁目)

「清掃工場 裏側探索」

家庭ごみ有料化の制度についての講習を受講し、ごみピット(ごみの貯留場所)等を見学。



発寒清掃工場



施設内の見学

◆ 札幌市リサイクルプラザ(西区宮の沢1条1丁目)

「おサイフと環境にやさしい暮らし方講座」

ごみの減量についての講習を受講し、リサイクル製品の販売を行っている市民交流広場を見学。



リサイクル家具の展示・販売コーナー



リユースコーナーの見学

